

「広島県におけるこれからの生涯学習の振興方策について」(答申)の概要

県民が生涯にわたる学習を通し、豊かで生きがいを持って生活ができる社会の実現

県民一人一人の生涯学習力の形成

社会や地域の課題に関する学習機会の提供の推進

- ・社会や地域の課題に関する学習機会の提供
- ・個人のニーズに応じた学習機会の提供
- ・学習成果の活用
- ・学習機会に関する情報のネットワークの構築と利用
- ・学習者同士のネットワークの構築と利用
- ・様々な学習者に対応した学習機会の提供や学習環境づくり

公民館等を拠点とした学校・家庭・地域の連携・協力の推進

- ・学校・家庭・地域の相互理解の促進
- ・公民館等のコーディネート機能の充実

生涯学習・社会教育を推進する人材の育成・確保の推進

- ・指導者、リーダー、ボランティアの育成・確保
- ・育成した人材の活動機会の確保
- ・人材情報の共有

生涯学習振興行政・社会教育行政の充実

- ・所管する公民館等の取組の充実
- ・公民館における社会教育の推進
- ・社会教育主事等の必要数確保や適正な配置
- ・社会教育主事等の専門性の向上を図るための研修の実施

行政、大学、企業、NPO、ボランティア団体、社会教育関係団体等の多様な主体による取組

国・県の動き (法令、答申等)

- ・教育基本法の改正 (平成 18 年)
- ・中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」(平成 20 年)
- ・教育振興基本計画 (平成 20 年)
- ・広島県人づくりビジョン (平成 20 年)
- ・広島県総合計画「元気挑戦プラン」後期実施計画 (平成 21 年)
- ・ひろしま未来チャレンジビジョン (平成 22 年)

社会情勢の変化

- ・知識基盤社会の到来
- ・グローバル化の進展
- ・情報通信技術の飛躍的進歩
- ・少子高齢化の進行
- ・人口減少の進行
- ・経済情勢の悪化 等

生涯学習・社会教育関係者への聞き取りから明らかになった主な課題

- 1 社会や地域の課題に関する学習機会の提供が十分に行われていない。
- 2 生涯学習・社会教育を推進する指導者、リーダー、ボランティアの固定化・高齢化の進行がみられる。
- 3 少子高齢化、過疎化、核家族化が進む中、住民同士の関わりが弱くなっており、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てることが十分に行われていない。
- 4 公民館職員等関係職員の配置や、その専門性の向上のための研修が十分に行われていない。

広島県生涯学習推進構想「学びが創る 豊かなひろしま」(平成 11 年 2 月)を踏まえた取組

- 1 学習意欲の高揚
- 2 学習支援の充実
- 3 学習成果の評価・活用
- 4 交流活動の促進
- 5 推進体制の充実 (多角的な学習圏の構築、推進組織の充実)

※ 生涯学習力：各個人が、社会の変化に応じて、生涯を通じて学び続ける力。